

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

2020年11月18日

代表取締役
会長・CEO
早河 洋

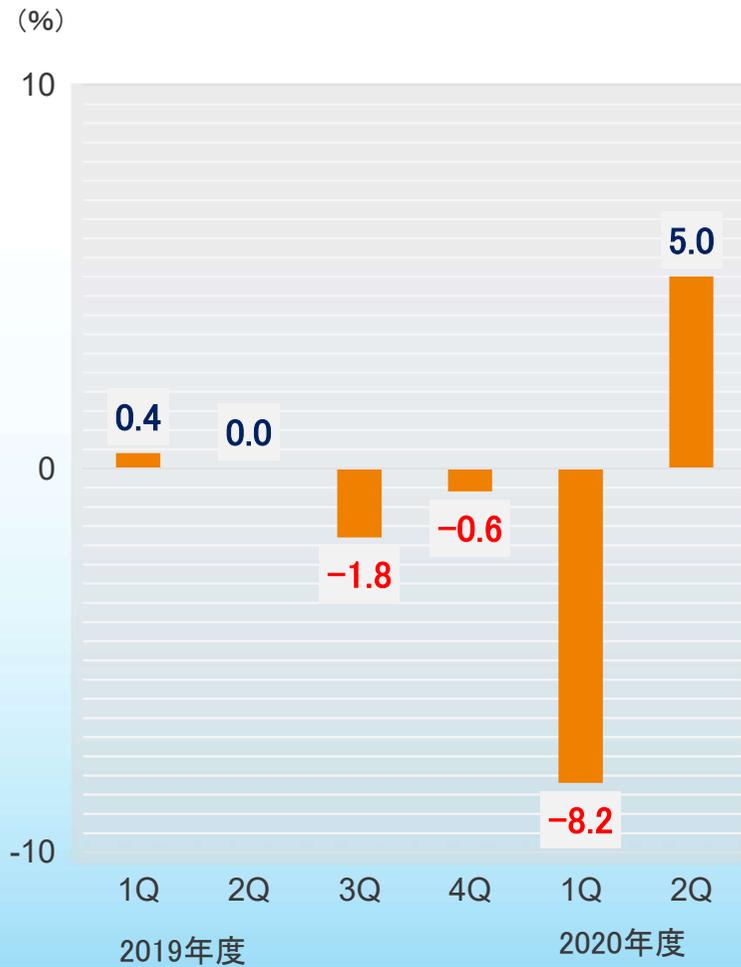
連結業績

(単位:百万円)	2019年度 上期	2020年度 上期	前年 同期比	増減率
売上高	145,416	118,026	△27,390	△ 18.8%
営業利益	5,274	2,317	△ 2,956	△ 56.1%
経常利益	7,318	4,272	△ 3,046	△ 41.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4,537	2,837	△ 1,700	△ 37.5%

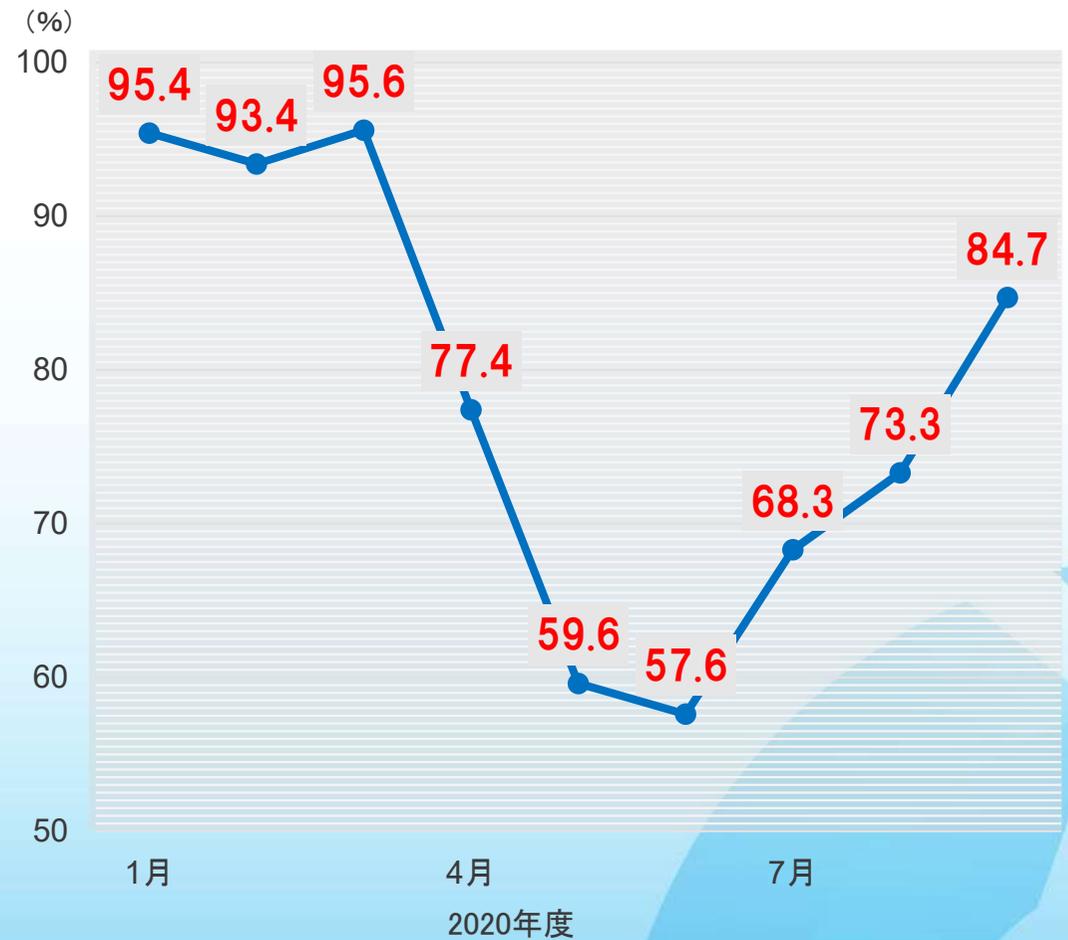
コロナ禍で大幅な減収減益

新型コロナウイルス感染症 主な影響

四半期GDP成長率(実質)



スポット 東京地区投下量



新型コロナウイルス感染症 主な影響

【影響セグメント】

【主な影響】

放送事業
その他事業

広告需要低迷

番組収録 中断

東京五輪 延期

主催イベント
延期・中止

夏祭り 中止

出資映画
公開延期

音楽出版事業

アーティストライブ
延期・中止

全社

テレワーク
体制強化

上期視聴率(地上波)



個人全体 7.6%
(世帯 14.2%)



個人全体 6.6%
(世帯 12.1%)



個人全体 5.5%
(世帯 10.8%)

コロナ禍の報道情報番組 視聴率堅調！

上期視聴率(地上波)

(期間: 2020/3/30~2020/9/27)

【個人全体】	テレビ朝日	日本テレビ	TBS	フジテレビ	テレビ東京
全日 (6-24時)	② 4.3 (+0.4)	① 4.8 (+0.5)	③ 3.5 (+0.4)	④ 3.1 (+0.1)	⑤ 1.6 (+0.2)
ゴールデン (19-22時)	② 6.1 (+0.2)	① 7.4 (+0.4)	③ 5.4 (+0.1)	④ 4.7 (-0.2)	⑤ 3.9 (+0.4)
プライム (19-23時)	② 6.4 (+0.4)	① 7.0 (+0.2)	③ 5.4 (+0.1)	④ 4.6 (±0.0)	⑤ 3.5 (+0.4)
プライム2 (23-25時)	② 2.6 (±0.0)	① 3.7 (+0.3)	③ 2.1 (-0.1)	④ 1.9 (±0.0)	⑤ 1.2 (±0.0)

【世帯】	テレビ朝日	日本テレビ	TBS	フジテレビ	テレビ東京
全日 (6-24時)	② 8.3 (+0.9)	① 8.8 (+1.1)	③ 6.8 (+0.9)	④ 5.9 (+0.3)	⑤ 3.0 (+0.5)
ゴールデン (19-22時)	② 11.0 (+0.7)	① 12.1 (+0.8)	③ 9.2 (+0.1)	④ 8.0 (±0.0)	⑤ 6.9 (+1.0)
プライム (19-23時)	① 11.6 (+1.1)	① 11.6 (+0.5)	③ 9.3 (+0.2)	④ 8.0 (+0.2)	⑤ 6.2 (+0.8)
プライム2 (23-25時)	② 5.3 (+0.2)	① 7.3 (+1.0)	③ 4.2 (±0.0)	④ 3.7 (+0.1)	⑤ 2.5 (+0.1)

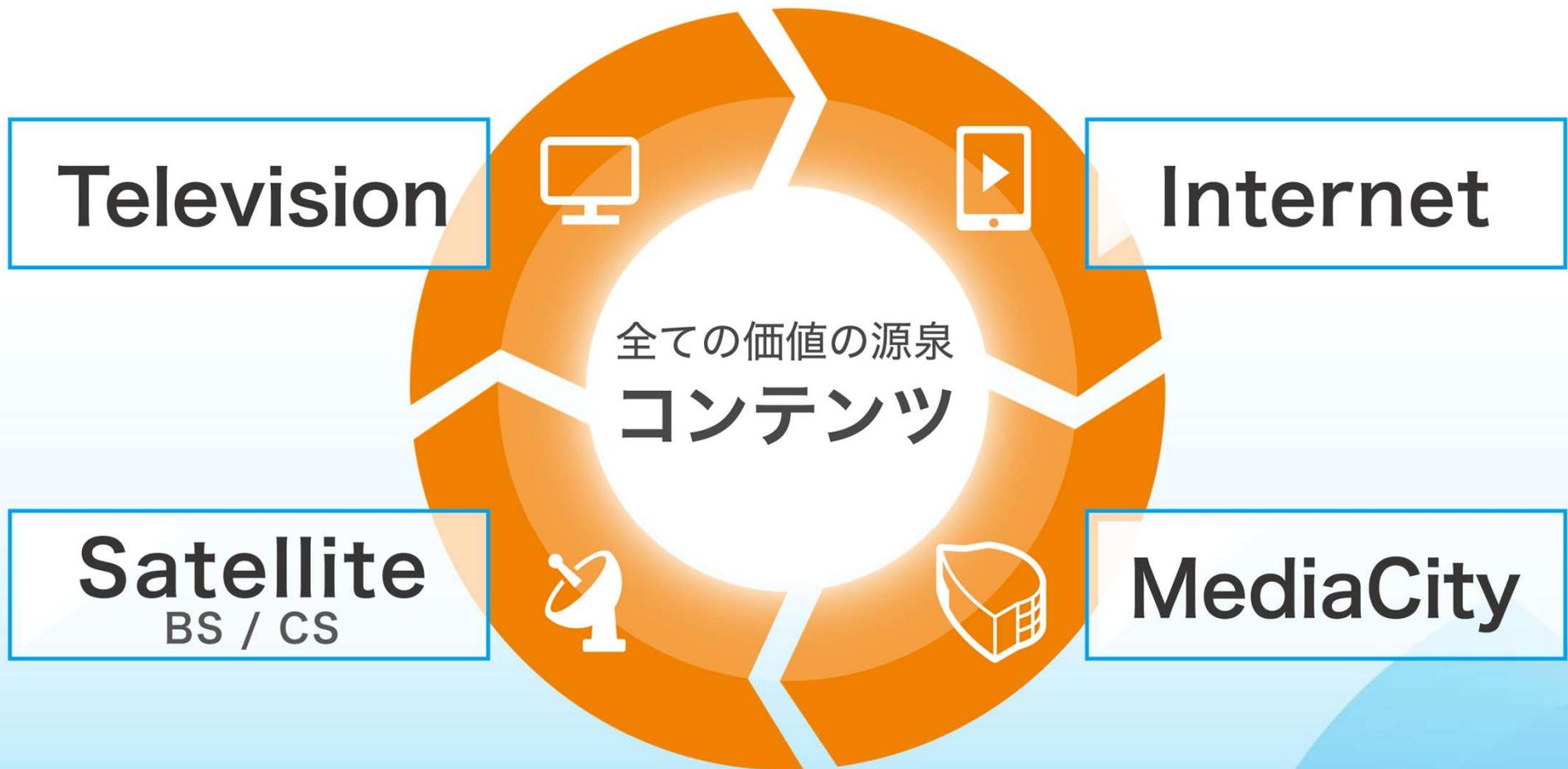
新経営計画 スタート

新しい時代のテレビ局

Innovative Station & Studio

テレビ朝日 360°
2020 - 2025

基本理念



360° 戦略を加速！

計画概要

コンテンツ制作

- 360° 展開の強化・推進
- ビジネス開発との連携強化
- オールターゲット戦略

インターネット

- TELASA(SVOD)、キャッチアップ、ABEMAの成長推進

データ・テクノロジー

- コンテンツ制作へ活用
- ビジネス展開へ活用

セールス体制

- ソリューション営業への脱皮
- アドバイザーの課題を解決

メディアシティ

- デジタルスクエアを建設
- エンタメとテクノロジーが融合する新拠点！

SDGs

- コンテンツを通じた社会貢献を推進する



組織改革



反転攻勢に向けた足場を固める！

全社横断の取り組み

未来をここから

プロジェクト

THE FUTURE STARTS HERE

「逆境だらけの今だからこそ“未来”に向かって立ち上がろう」というコンセプトのもと、番組の垣根を越え、「不安が募る世の中だからこそ、前を向いて何かちょっと変えること」を応援していきます。

報道
STATION

時代の最先端を走る「人」を特集する『未来を人から』

(10/26から5日間連続)

土
STATION
サタデーステーション

「未来のテクノロジー」に関する特集

日
STATION
サタデーステーション

「コロナ時代の新定番」に関する特集

TOKYO
応援宣言

「1日1ほめ！みんなほめる宣言」を番組、SNSで展開

10月改編のポイント

① 週末22時台 30分枠 バラエティ番組を4本編成



② 日曜21時 「サンデーステーション」枠移動



③ 平日深夜帯「バラバラ大作戦」
20分枠 短尺のバラエティ番組を14本編成

10月プライム編成(地上波)

	月	火	水	木	金	土	日
18時台							
19時台	帰れマンデー 見つけ隊!!	今でしょ! 講座	あいつ今 何してる?	ハナタカ! 優越館	ザワつく! 金曜日	博士ちゃん	ナニコレ 珍百景
20時台	10万円で できるかな	これって 私だけ? (ABC)	ミラクル9	科捜研の女	かりそめ天国	ニュースそう だったのか!!	ポツンと 一軒家 (ABC)
21時台	Qさま!!	トリニクって 何の肉!? (ABC)	相棒 season19	七人の秘書	ミュージック ステーション	サタデー ステーション	サンデー ステーション
22時台	報道ステーション					あざとくて 何が悪いの?	シンパイ賞!!
						ノブナカ なんなん?	テレビ千鳥
23時台	激レアさんを 連れてきた。	ロンドンハーツ	家事ヤロウ!!!	アメトーク!	開局60周年記念 24 JAPAN	先生を消す 方程式。	関ジャム 完全燃SHOW

バラエティー・報道改編

ドラマ改編

10月改編 滑り出し



シリーズ開始から
《20周年》

【5話平均視聴率】
個人全体 8.8%
(世帯 16.1%)



【4話平均視聴率】
個人全体 6.1%
(世帯 11.2%)



【4話平均視聴率】
個人全体 7.5%
(世帯 13.9%)

人気ドラマを中心に堅調な推移

インターネットの取り組み

TELASA

- 本年4月 サービススタート！
- KDDIとの共同事業
- SVOD(定額制動画配信)
本店機能と位置付け
 - ドラマ「真夏の少年」「妖怪シェアハウス」オリジナルコンテンツ配信！
 - 『ロンドンハーツ』生ライブ配信実施



ABEMA

- コンテンツ強化を継続中！
- WAU 1千万を超える水準
で推移(ニュースなど好調)
- 地上波との連携強化
 - ドラマ『M』共同制作およびスピ
ンオフドラマもABEMA独占配信！



- 開局60周年記念「24 JAPAN」
- テレビ朝日、ABEMA、TELASA共同プロジェクト
- ABEMA、TELASAで見逃し配信 + 配信限定オリジナルストーリーも

インターネットの取り組み

Ultra/Impression

- 「テレ朝キャッチアップ」
(無料広告型見逃し配信サービス)
広告枠セールス
- ABEMAビデオ内
広告枠セールス
- ABCテレビが展開する
キャッチアップサービスへの
広告配信もおこなう



キャッチアップ TVer

- TVerを中心にユーザー数は
増加傾向
- 体制を強化、サービスレベル
拡充を目指す！

戦略投資

ショッピング事業強化のため(株)イツティへ出資

it2yinc

会社概要

- 通信販売事業
- 自社企画商品を自社ECサイト、テレビ通販、ECモールなどで幅広く販売
- 若年層向けの商品も数多く取り扱う

出資の理由

- ショッピング事業(その他事業)の強化
- 商品ラインナップ、商品販路の拡充を通じた収益最大化を目指す

業績予想

(単位:百万円)

	19年度実績	20年度予想	前期比	増減率
売上高	293,638	255,000	△ 38,638	△ 13.2%
テレビ放送事業	235,838	204,800	△ 31,038	△ 13.2%
音楽出版事業	9,641	5,700	△ 3,941	△ 40.9%
その他事業	48,159	44,500	△ 3,659	△ 7.6%
営業利益	12,565	5,000	△ 7,565	△ 60.2%
テレビ放送事業	7,000	2,400	△ 4,600	△ 65.7%
音楽出版事業	1,018	400	△ 618	△ 60.7%
その他事業	4,598	2,200	△ 2,398	△ 52.2%
調整額	△ 51	—	+ 51	—
経常利益	32,048	8,000	△ 24,048	△ 75.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,398	6,000	△ 20,398	△ 77.3%

広告収入 (地上波)

タイム	スポット	広告収入 計
△13.2%	△19.3%	△16.4%

株主還元

配当

- ✓ 1株当たり40円(予定)
- ✓ 配当性向 69.3%
- ✓ 普通配当の継続的な成長に主眼をおいた安定配当

自己株式の取得

- ✓ 取得し得る株式の総数 … 180万株(上限)
- ✓ 取得価額の総額 … 35億円(上限)
- ✓ 取得期間 20年11月13日～21年3月31日
- ✓ 取得方法 東京証券取引所における市場買付け

株主の皆様への還元を強化！

専務取締役
藤ノ木 正哉

連結業績



(単位:百万円)

	2019年度 上期	2020年度 上期	前年 同期比	増減率
売上高	145,416	118,026	△ 27,390	△ 18.8%
テレビ放送事業	116,083	95,967	△ 20,115	△ 17.3%
音楽出版事業	6,382	3,098	△ 3,284	△ 51.5%
その他事業	29,758	25,203	△ 4,554	△ 15.3%
調整額	△ 6,807	△ 6,243	+ 563	—
営業利益	5,274	2,317	△ 2,956	△ 56.1%
テレビ放送事業	1,821	1,305	△ 516	△ 28.3%
音楽出版事業	770	274	△ 495	△ 64.4%
その他事業	2,743	740	△ 2,002	△ 73.0%
調整額	△ 60	△ 2	+ 57	—
経常利益	7,318	4,272	△ 3,046	△ 41.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,537	2,837	△ 1,700	△ 37.5%

新型コロナウイルス感染症 主な影響

【影響セグメント】

【主な影響】

放送事業
その他事業

広告需要低迷

番組収録 中断

東京五輪 延期

主催イベント
延期・中止

夏祭り 中止

出資映画
公開延期

音楽出版事業

アーティストライブ
延期・中止

全社

テレワーク
体制強化

テレビ放送事業

(単位: 百万円)	2019年度 上期	2020年度 上期	前年 同期比	増減率
売上高	116,083	95,967	△20,115	△17.3%
タイム収入	41,557	37,272	△ 4,285	△10.3%
スポット収入	43,422	30,496	△12,926	△29.8%
番組販売収入	6,569	6,632	+ 63	+ 1.0%
BS・CS収入	13,079	12,089	△ 989	△ 7.6%
その他収入	11,454	9,476	△ 1,977	△17.3%
営業利益	1,821	1,305	△ 516	△28.3%

タイム収入(地上波)

(単位:百万円)	2019年度	2020年度	前年同期比	増減率
1Q	20,777	18,567	△ 2,210	△10.6%
2Q	20,779	18,705	△ 2,074	△10.0%
上期	41,557	37,272	△ 4,285	△10.3%

主な増減要因

- 【レギュラー】アドタイザーの固定費削減傾向の影響が大
- 【単発】前年同期にあった大型番組(「白い巨塔」など)の反動

スポット収入(地上波)

(単位:百万円)	2019年度	2020年度	前年同期比	増減率
1Q	22,869	15,206	△ 7,662	△ 33.5%
2Q	20,553	15,289	△ 5,263	△ 25.6%
上期	43,422	30,496	△ 12,926	△ 29.8%

東京地区投下量シェア

2020年度上期 **22.2%**
 ※ シェアについては見込 (前年同期比+0.1%)

前年同月比推移



番組制作費(地上波)

(単位:百万円)	2019年度	2020年度	前年同期比	増減率
1Q	21,046	14,978	△ 6,068	△28.8%
2Q	20,721	17,349	△ 3,372	△16.3%
上期	41,768	32,328	△ 9,440	△22.6%

主な増減要因

- 【レギュラー】 コロナの影響で収録の一時中断 + 大幅なコスト削減
- 【単発】 前年同期の大型番組(「白い巨塔」など)の反動 など

音楽出版事業

(単位:百万円)	2019年度 上期	2020年度 上期	前年 同期比	増減率
売上高	6,382	3,098	△3,284	△51.5%
営業利益	770	274	△ 495	△64.4%



湘南乃風
~四方戦風~



HAN-KUN
(湘南乃風)
よろしく



Sonar Pocket
大切な人へ



HIRAIDAI
Sayonara



COLOR CREATION
SECOND PALETTE

その他事業

(単位:百万円)	2019年度 上期	2020年度 上期	前年 同期比	増減率
売上高	29,758	25,203	△ 4,554	△15.3%
営業利益	2,743	740	△ 2,002	△73.0%

<主なその他事業収入>

(単位:百万円)

	2019年度上期	2020年度上期	前年同期比	増減率
インターネット	9,446	9,381	△ 64	△ 0.7%
ショッピング	4,985	6,219	+ 1,234	+ 24.8%
機器販売・リース料	2,952	2,069	△ 882	△ 29.9%
出資映画	1,258	1,614	+ 355	+ 28.2%
イベント	5,375	488	△ 4,886	△ 90.9%
DVD	406	434	+ 28	+ 6.9%

その他事業 主な増減要因

インターネット	<ul style="list-style-type: none"> ● ABEMA関連の受託が減少し<u>微減収</u> ● SVODプラットフォーム向けのコンテンツ販売など好調で<u>増益</u>
ショッピング	<ul style="list-style-type: none"> ● 通販番組「じゅん散歩」や通販特番が堅調 ● ヒット商品にもめぐまれて<u>増収増益</u>
機器販売・リース	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ感染症の影響でイベント・コンサートの延期・中止により関連する機材レンタルが減少した影響等で<u>減収減益</u>
出資映画	<ul style="list-style-type: none"> ● 出資映画の公開時期が遅れた影響で売上は<u>増収</u> ● 前年同期と公開時期が遅れたことで出資金償却負担も増え<u>減益</u>
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ感染症の影響で毎年恒例の夏祭りが中止 ● その他イベントについても中止・延期が相次ぎ<u>大幅な減収減益</u>

設備投資と減価償却費

設備投資

(単位:億円)

	2019年度 上期	2020年度 上期	前年同期比	増減率	2020年度 (予想)
連結	49.1	25.5	△23.6	△ 48.1%	142.0
テレビ朝日	34.9	20.6	△14.2	△ 40.9%	134.0

減価償却費

(単位:億円)

	2019年度 上期	2020年度 上期	前年同期比	増減率	2020年度 (予想)
連結	54.9	53.4	△1.5	△ 2.8%	106.0
テレビ朝日	47.2	44.1	△3.0	△ 6.5%	89.0

今後の主な資金使途について

【主な施策】

戦略投資

- コンテンツ周辺領域等を中心に「戦略投資」をおこなう
- 事業拡大、企業価値向上を目指す



イッティ社へ出資
ショッピング事業強化

株主還元

- 安定配当を基本に特別配当・記念配当をおこなう
- 自己株式の取得についても適宜検討

20年度
自己株式の
取得実施
(上限35億円、180万株)

設備投資 (放送設備)

- 放送設備への継続的な投資をおこなう
- 安定的な放送の継続や、次世代放送に対応するため計画的な投資を実施

20年度見込
142億円
(連結)

資料に記載されている当社の計画、見通しなどのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から作成されたものであり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。

実際の業績は様々な重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

<https://www.tv-asahihd.co.jp/IR/>

IRホームページの充実にも努めております。ぜひ一度ご覧ください。

